

4. 議題

今回の番組審議委員会は、10月の番組改編に伴いデビューした3名のナビゲーター『ヒッツ・イブニング・ゲート』のオープニング（2日：森 晶子、4日：渡邊 登紀夫、5日：うりたこゆき）と、うりたこゆきの番組コーナー「バック・トゥ・ザ・ヒーダー」）を聴取して審議に入った。

☆「ヒッツ・イブニング・ゲート」（月～金 16：00～18：53）

「音楽と生活」、「リスナーとリスナー」、「飛驒と世界」そして「今日と明日」など、様々な「〇〇と〇〇」を繋ぐ扉“Gate”となって、1日の終わりに向けた時間サポート。森晶子ナビゲーターは復帰。渡邊 登紀夫・うりたこゆきナビゲーターは新人。

☆「バック・トゥ・ザ・ヒーダー」（木 17：00～約10分のコーナー）

放送日と同日の過去の市民時報（地元紙）などを利用し、同じ季節の以前の飛驒を思い出しリスナーの当たり前だった事柄を改めて認識してもらおうと共に、飛驒地域の新たな魅力を知ってもらおう。また、うりたこゆきナビゲーターは三重県出身で引っ越して8年が経つが、地元出身ではない自身の今までの知識や新たな発見を交え、多角的・俯瞰的に飛驒を見つめてもらいたい思いがある。

5. 審議内容

会社側：	審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対する回答、報告今後の放送予定、聴取した番組の説明をした。
大萱委員長：	皆様からいろいろなご意見を頂戴したいが、今、聴取した番組に関して、また、普段聴いている番組で感じたことなどをお願いしたい。
坂下 委員：	「ヒッツ・イブニング・ゲート」について、渡邊ナビゲーターのオープニング（約8分間）は少し長いと感じた。それに対して、うりたナビゲーターのオープニングはさっぱりしていたので、もう少し踏み込んでもよかったと思う。「バック・トゥ・ザ・ヒーダー」については、BGMが少し大きいと感じたので、前クレの部分はBGMを入れて、本編はBGMが無くてもよいと思ったが、会社側の事前の説明で「実際放送した場合、BGMは実際の音量より小さく聞える」ということだったので、その辺りはどちらがよいのか判断しづらい。内容としては、昔の市民時報（地元紙）の記事を取り上げていたので、私ぐらいの年齢層が聴くと懐かしくてよいと思った。
芹川 委員：	「ヒッツ・イブニング・ゲート」について、新人も含め3人のナビゲーターは、初めての割にはとてもしゃべりが上手いと思う。森ナビゲータ

	<p>ーは経験があるということだが、2人の新人ナビゲーターは話す速度も丁度よいし、感心して聴いていた。女性ナビゲーターが多い中、男性である渡邊ナビゲーターは貴重だし、男性ナビゲーターもいてよいと思った。「バック・トゥ・ザ・ヒーダー」について、企画書に書いてある「多角的・俯瞰的」ということであれば、何故、昭和55年を紹介したのかわからない。ランダムに紹介する年代を決めているかもしれないが、少し疑問を感じた。しかし、昔のことを振り返る意味では、この内容は好きで私は高山に来て間もないので、高山のことが詳しくないのだが、以前、高山市の職員とも話をしていた時に、昔、高山にはボーリング場が3件あり、うち1件は今のスカイパークの敷地内にあったということを知り、驚いたのだが、とても話が盛り上がったことを思い出した。その昔のことを知っている人も知らない人も聴き入れる内容だったので、おもしろいと思った。</p>
<p>大上 委員：</p>	<p>「ヒッツ・イブニング・ゲート」について、前回の審議委員会の際に、今度、新人ナビゲーターが経験者を含め3名デビューすることを聞いていたので、「緊張しているのかな」「大丈夫なのかな」という想いでいたが、3名とも初めてだとは思えないくらい慣れた感じで、聴きやすかった。森ナビゲーターは経験者なので「さすが」でしたし、「ラジオが大好きなのだな」と言う雰囲気伝わって、安心して聴くことができた。渡邊ナビゲーターは、教員を退職してからナビゲーターデビューということで少し年配の声かと思ったが、若々しい声でいい声だと思う。女性ナビゲーターが多い中、新鮮に思えたし、話好きで軽快な感じでよかったと思う。うりたナビゲーターも以前、葬儀屋で進行などをしていたということで、聴き取りやすい声だと思った。「バック・トゥ・ザ・ヒーダー」は、「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の曲が流れ、気分も盛り上がり懐かしいと感じた。その中でいろいろなお店が出てきたが「モリー」（地元のスーパーで、2013年に倒産し、一族は夜逃げ、債権者も多かったという）はNGかなと思う。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>NGなことは、事前に打ち合わせできないのか？</p>
<p>会 社 側：</p>	<p>生放送ギリギリなので、打ち合わせする時間がないことが多い。</p>
<p>大上 委員：</p>	<p>結構な事件だったので、悔しい思いをした人が多いのではないかと思う</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>事前に各ナビゲーターが「これどうだろう」と疑問をもったら、確認するようにしてほしいと思う。今後、事前の打ち合わせをお願いしたい。</p>

松川 委員:	「ヒッツ・イブニング・ゲート」については、他の委員の意見同様のことを思った。うりたナビゲーターは、もともと高山に住んでいるのか？三重県四日市市出身と聞いているが、ナビゲーターをやる為に来ているのか？そのあたりを教えて欲しい。
会 社 側:	8年前に高山に嫁いで現在は高山市に住んでいる。
松川 委員:	うりたナビゲーターは地元出身ではないので、ナビゲーターを始めるにあたり、いろいろな理由を話してもらおうと、より親しみが湧くのかなと思った。しかし、うりたナビゲーターも渡邊ナビゲーターも、初めてとは思えないくらいのしゃべり方でよかったと思う。「バック・トゥ・ザ・ヒーダー」は、大上委員同様、明るい話題の後「モリー」の話題が出てきたので、金融機関（松川委員に金融機関職員）にいる者としてはどうなのかなと思った。企画はよいと思うが、取り上げるのなら、何年か前の放送日が同じ日で紹介してもよいのではないかと思う。例えば、今日は11月28日だから、50年前の11月28日の出来事で「世間ではこうゆうことがあったが、高山ではこうゆうことがあった」というような流れで紹介すればよりわかりやすいし、懐かしく感じると思った。1つ残念なのが今は存在しない「飛騨体育館」の話題で、現在はこの場所はどうかを紹介しなくて話題が終わっていたので、うりたナビゲーター自身が足を運んで「今は公園に変わっていたり、このような施設があったり」など、現在の様子を伝えると、より番組としての役割も果たせるのかなと思う。「今はどう変わっているかわからない」みたいなコメントは残念だと思う。
大萱委員長:	調べる時間が無いかもしれないが、詳しい人に聞くのもよいと思う。もちろん、あまりにも過去のことであれば調べなければいけないと思うが、少し昔の話ならば「過去と今」を比較できると、より一層おもしろくなるのではないかと思う。
原 委 員:	「ヒッツ・イブニング・ゲート」について、3名のナビゲーターそれぞれ個性的で今後が楽しみだと思う。デビューから約2か月経っていて3名ともしゃべり方が変わってきていると思うが、森ナビゲーターについては、ほのぼのしているし、ゆっくりとしゃべっているので、好感が持てた。特に「主婦目線」の話が結構あり、今まで、あまりそのような話が無かったような気がするので、それはそれでおもしろいと思う。それとは対照的に、渡邊ナビゲーターについては、個人的に指摘したいところが多い。先ほどの意見にもあったが、オープニングが長いのもそうなのだが、普段の放送を聴いていて「間が空く」ことが多い。句点で

	<p>空くのではなく「少し喋って間が空いて、少し喋って間が空く」みたいな感じで内容が聴きづらい。特にニュースが聴きにくい。原稿を読むときになると、単語の後に1、2秒間が空いて、1つの原稿を読み終わった後は、3から5秒ほど間が空いて次の原稿を読むみたいな流れになっている。あまりにも気になったので思わず何秒空くのか数えてしまったほどだ。3から5秒無音状態になると、ラジオでは放送事故になりかねない。うりたナビゲーターは、ユニーク話しぶりかなと思う。今まで聴いたこと無い雰囲気じゃべっているの、おもしろいかなと思う。ただ、うりたナビゲーターもニュースが苦手な感じがするので、今後、慣れてくれば少し改善できるのかなと思う。また、自分の世界に入り込むタイプの人だと思う。入り込みすぎると反感を買う恐れがあるかもしれないので、抑えながらしゃべったほうがよいと思う。要望だが、今後、聴取する内容として、オープニングのようなフリートークだけでは無く、ニュースなどの原稿読みのものもあると比較しやすいと思う。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>日頃、原委員はお店（原委員は自転車店経営）でもヒッツFMを流して聴いているので、普段の放送の中での意見でありがたい。そのあたり制作スタッフは、ニュースなど細かいチェックをして指摘や訓練しながら改善して欲しいと思う。今、デビューして2か月位経つが、新人ナビゲーターの成長具合はどうなのか？</p>
<p>会 社 側：</p>	<p>新人ナビゲーターが担当している「ヒッツ・イブニング・ゲート」は、平日、日替わりでナビゲーターが担当しており、新人ナビゲーターは1週間に1回の放送となる。番組の進行や原稿読みなど、まだ慣れていないので、少ししか成長していない気がする。以前は新人でも週に3日、或いは帯番組を担当した経緯があるので慣れるのが速かったが、週1回だとなかなか成長できないと思う。少し時間が必要だと思う。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>週1だと仕方がないと思うが、時間が空いている時にちょっとしたアドバイスや訓練をして欲しいと思う。しかし、ヒッツFMもずいぶん変わったと思う。これだけ長く放送していればそうなのかもしれないが、ベテランのナビゲーターが少なくなっている気がする。</p>
<p>松川 委員：</p>	<p>原委員の渡邊ナビゲーターについての指摘は、会社側も何となくわかっているのか？</p>
<p>会 社 側：</p>	<p>私自身、ニュースを含めたインフォメーションについては、しっかりチェックしていないので、そのあたりは制作担当者に確認を取りたいと思う。</p>

原 委 員:	渡邊ナビゲーターのインフォメーションについては、交通情報（トラフィックインフォメーション）でも、読みが変なところでぶつ切りになったり、無音になったりしてわかりにくい。
大萱委員長:	もしかしたら、前職が教員だったので「間違えてはいけない」という気持ちが強すぎて、読み方がぶつ切りになったり、無音になるのではないかと思う。しかし、慣れてくればすらすらと読めると思う。他に普段の番組等で意見は無いか？
原 委 員:	中村ナビゲーターが担当している朝の番組だが、未だに中村ナビゲーターのしゃべり方が気になる。普段のフリートークはそこまで感じないがインフォメーションのところは、変わった抑揚だし、力が入っているというか苦しそうなしゃべり方だ。
大萱委員長:	中村ナビゲーターについては、以前の番組審議委員会でも指摘があり、何ヵ月か経って自身も今日聴いたが、さらに酷くなっている気がした。会社側もそれはわかっていることなので、指摘はしていると思うが、改善されていないということは、体調面のこともあるかもしれない。
会 社 側:	体調面なのか、そのあたりはよくわからないが、私やスタッフのところにも最近、同じ指摘が入って来ているし、リスナー、スポンサーにも迷惑をかけるので、何かしら決断をしないといけないのかなと思う。もう一度、制作担当者と中村ナビゲーターとの面談をしたいと思います。
大萱委員長:	中村ナビゲーターの為にも、言いづらいと思うが、今後のことを話したほうがよいと思う。他に意見は無いか？
松川 委員:	ヒッツFMで放送している「求人情報」だが、現在、企業何社紹介しているのか？
会 社 側:	現在、5社紹介している。週ごとの紹介なので、来週は少し紹介する企業は減ると思う。
松川 委員:	「求人情報」を紹介している企業で、ずいぶん長い期間、同じ企業が紹介されているが、それはそれでよいのか？
会 社 側:	契約によって長く紹介している企業もあるし、1週間で終了する企業もあるが、長く紹介している企業については、何度も紹介することで、その企業の名前を知ってもらうことになり、間接的ではあるが、求人への効

	果も期待できるのではないかと思う。また、他に声をかけている企業もあるが検討中で、なかなか増えない状況だ。
大萱委員長：	他に意見が無ければ閉会する。
会 社 側：	本日も貴重な意見を頂戴して感謝している。会社に持ち帰り改善できるところは改善し、番組向上に繋げて行きたい考えだ。

6. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日（答申又は意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。）

令和5年11月28日（火）番組審議委員会の席上で説明

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法（自社ホームページ <http://www.hidanet.ne.jp/~hitsfm>）

公表の内容 第92回番組審議委員会開催の議事録

公表年月日 令和5年12月18日

8. その他の参考事項

次回開催時期：令和6年1月下旬

次回開催場所：飛騨地域地場産業振興センター